2025年1月号
FP武蔵野グループ

渡辺公雄
（社会保険労務士）

令和７年度の年金額（３年連続大幅上昇）

本年最初のメルマガとなります。本年もよろしくお願いいたします。

さて、令和７年度の年金額が決定しました。令和７年度は、１．９％のアップです。

（前年比）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年金額	－0.4%	（67歳以下） ＋2.2% （68歳以上） ＋1.9%	＋2.7%	＋1.9%
前年度物価	－0.2%(R4)	＋2.5%(R4)	＋3.2%(R5)	＋2.7%(R6)

物価はそれ以上にアップしています。実質、０．８％減とみてよいと思います。

それでも、公的年金は物価にある程度連動しており、生活を支える大切な制度です。まだ年金を受給していない方は、将来の受給額を増やすための対策を検討されることをお勧めします。

年金生活を送る中で、物価の上昇により生活費の負担が増していると感じる方も多いでしょう。特に、キャベツの価格が平年比で約３倍に高騰するなど、野菜の価格上昇が家計に影響を及ぼしています。

年金生活において、物価の上昇で生活費の負担が増していると感じる方も多いでしょう。このような状況では、家計の見直しと節約が重要です。例えば、通信費の削減や保険の見直し、食費の管理など、日常生活の中で工夫できるポイントは多く存在します。また、シニア向けの割引や優待サービスを活用することで、娯楽費や交通費の節約も可能です。さらに、電気代やガス代の節約も家計の負担軽減に効果的です。 ご自身の家計を把握して、優先順位を考えながら、節約術を取り入れてみてください。

－以　上－